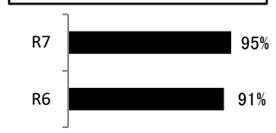
令和7年度　南千里中学校　学校教育自己診断

生徒（回答率89%）

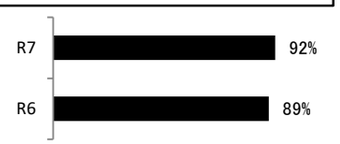
※　**概ね良好な回答（1.そう思う＋2.ややそう思う）**

■1　私は、学校へ行くのが楽しい。

■2　私は、安心して学校に通っている。

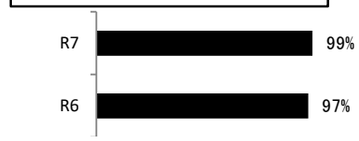


■3　私は、生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる。



■4　私は、清掃活動に積極的に取り組んでいる。

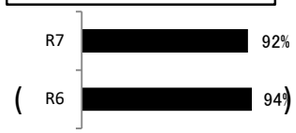
■5　私は、この学校に、一緒に過ごしたり話したりする友だちがいる。



■6　私は、この学校に、悩みを相談できる大人がいる。

■7　私は、学校のルールや社会のきまりをよく守っている。

■8　私は、授業がわかりやすいと思う。

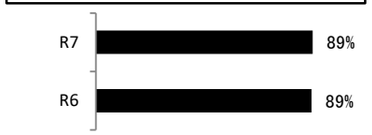


■9　私は、いじめや暴力はどんな理由があってもいけないことだと思う。

■10　私は、積極的に授業に参加している。

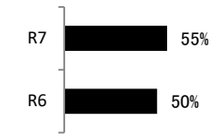
■11　私は、わからないことについて、授業中や休み時間などに質問することができる。

■12　私は、ペアやグループなどの対話的な活動により、自分の考えを深めている。



■13　私は、自分の考えを伝えるときに、理由も併せて説明するようにしている。

■14　私は、図書室で本を借りたり店で購入したりするなどして、本をよく読む。



■15　私は、道徳で学習したことを、日々の生活に活かしている。

■16　私は、将来の生き方や進路について考え、学習している。

■17　私は、人権の大切さについて考え、学習している。

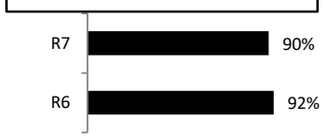
■18　学校は、自然災害や緊急事態に対応するための取組みを行っている。

■19　少人数分割授業は、一括授業と比べて授業内容が分かりやすい。

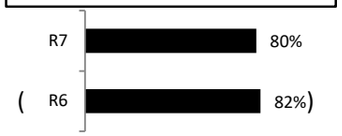
■20　学校では、ICT機器を活用した授業がほぼ毎日行われている。

■21　学校では、各教科における学習の評価方法が示されている。

■22　南千里中学校は、地域に誇れる学校である。

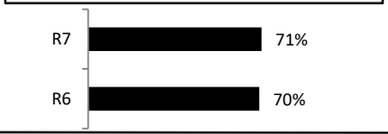


■23　私は、家で積極的に予習や復習をしている。（塾・通信教育を含む）



■24　私は、家の人と学校の出来事について、よく話をする。

■25　私は、家の人とインターネット・SNSの利用についてよく話し合っている。



■26　私は、地域活動に積極的に参加している。

【校長より】　平素の学校生活では、男女の別なく、積極的に授業に参加し、行事にも一生懸命取り組み、落ち着いたようすが見られます。今年度は特に肯定的回答が9割を超える項目がぐんと増えました。安心して学校に通い、楽しく学校生活を過ごす様子が顕著に表れています。大変喜ばしいことです。設問２２「地域に誇れる学校」として今年度も９割の肯定的回答を得ています。誇れる学校、誇れる自分を大切にできる南千里中学校であり続けたいと考えます。

【アンケート結果より】　設問1、2, 3, 4, 5「私は、学校へ行くのが楽しい」「私は、安心して学校に通っている」「私は、生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる」「私は、清掃活動に積極的に取り組んでいる」「私は、この学校に、一緒に過ごしたり話したりする友だちがいる」では肯定的回答は昨年度より上回り、9割以上で高水準であることから、生徒の学校生活への積極的な関わりを見ることができる。一方、設問6「私は、この学校に、悩みを相談できる大人がいる」では、肯定的回答は昨年度同様8割程度にとどまっているので、教職員との信頼関係の構築には今後も努力していきたい。設問7「私は学校のﾙｰﾙや社会の決まりをよく守っている」では、肯定的回答は97%となっており、引き続き、ﾙｰﾙ順守の大切さを普段から意識できるよう声掛けしていきたい。設問8「私は、授業がわかりやすいと思う」（昨年度「わかりやすい授業がある」から変更。）では肯定的回答は92%で、対話的な授業を進めながら、ICTも用いた生徒主体の授業を引き続き推進していく。設問9「私は、いじめや暴力はどんな理由があってもいけないことだと思う」では肯定的回答は95%に達するが、100%に近づけるよう道徳以外の教育活動全般でも意識するよう心掛けたい。（昨年度「学校は、いじめや暴力の未然防止の取組みを行っている」から変更。）設問10「私は、積極的に授業に参加している」では肯定的回答は93%で、教職員・生徒の意識向上が結果として表れていると言える。設問11「私は、わからないことについて、授業中や休み時間などに質問することができる」では、肯定的回答は75%となり、昨年度より4%下回った。質問できる環境づくりや生徒との関係性づくりについて着目していく必要がある。設問12「私は、ﾍﾟｱやｸﾞﾙｰﾌﾟなどの対話的な活動により、自分の考えを深めている」では、肯定的回答は昨年度と同様89%であった。生徒らに対話的な活動での一定の効果を感じさせることができているが、残りの10%への改善策も検討していく必要もある。設問13「私は、自分の考えを伝えるときに、理由も併せて説明するようにしている」では、肯定的回答は昨年度より1p下回った。日頃の表現活動（ﾌﾟﾚｾﾞﾝ活動）をはじめとする学習活動で、自分の考えが伝わりやすい工夫について体得していく必要がある。設問14「私は、図書室で本を借りたり店で購入したりするなどして、本をよく読む」では肯定的回答は55%で、昨年度より5p上回っているが、全体の半数程度が自ら本に向かうことができていない現状が見られた。読書への誘いの方法を検討していく必要がある。設問15「私は、道徳で学習したことを、日々の生活に活かしている」では肯定的回答が83%で、昨年度より6p上回っている。日々の生活で道徳をとおして得ることができ、見方・考え方を自身の生活に活かすことができていることが分かる。設問16「私は、将来の生き方や進路について考え、学習している」では、肯定的回答が86%と昨年度より6p上回っている。生徒らが学校行事を含めた日々の学習の中で見たこと、聞いたことを自分のものにしようとしていることが分かる。設問17「私は、人権の大切さについて考え、学習している」では、肯定的回答が95%で高水準である。生徒らが学校行事を含めた日々の学習の中で見たこと、聞いたことを自分のものにしようとしていることが分かる。設問18「学校は、自然災害や緊急事態に対応するための取組みを行っている」では、肯定的回答は昨年度同様90%近いことから、避難訓練等の取組みにおける生徒の理解度は高い。一方、否定的回答が10%ほどあることからさらに意識向上を図る必要がある。設問19「少人数分割授業は、一括授業と比べて授業内容が分かりやすい（3年生のみ実施）」では、肯定的回答は昨年度より8pも上回っている。個に応じた指導の充実が効果を発揮できていることがわかる。設問20「学校では、ICT機器を活用した授業がほぼ毎日行われている」では、肯定的回答が94%で、iPadの導入により、さらにICT機器の活用が進むことが期待できる。（昨年度「学校では、ICT機器を活用した授業も行われている」から変更。）設問21「学校では、各教科における学習の評価方法が示されている」では、肯定的回答は95%で高水準である。ほとんどの生徒が評価方法を意識して授業に取り組めていることがわかる。設問22「南千里中学校は、地域に誇れる学校であるる」では、肯定的回答は昨年度に引き続き90%台を維持している。授業の分かりやすさや人間関係の良さに関する設問も90%を超えていることから、これらが生徒自身の母校に対する好印象につながっていると考えられる。設問23「私は、家で積極的に学習をしている（塾・通信教育等含む）」では肯定的回答が80%で、大多数の生徒が学習に対して意欲的である反面、一部には学習に対して消極的な生徒もいることがわかる。設問24、25「私は、家の人と学校の出来事についてよく話をする」「私は、家の人とｲﾝﾀｰﾈｯﾄ・SNSの利用についてよく話し合っている」では、肯定的回答はそれぞれ84%、71%であった。昨年度と比較し、数p上回っており、家庭でのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝが取れていることがわかる。設問26「私は、地域活動に積極的に参加している」では、肯定的回答が8p下回っているが、今年度は新たに地域行事へのﾎﾞﾗﾝﾃｨｱとしてのべ36名が参画した。次年度へつなげていきたい。